

みなと物語



港区はその昔 海の底？

大阪に人が住み始めたのはどれくらい前だと思いますか？

数万年前にはすでに人が住んでいたといわれています。昔の大阪の町はほとんどが海で、たくさんの沼地や小島が散らばっていたそうです。右の図をみると、古代からの陸地は上町大地といわれる高台で今の港区の場所は大阪湾の海底だったことがわかりますね。



▲海岸線のうつりかわり(続大阪平野発達史により作図)

大阪の土地は、川の上流から運ばれてきた土砂が長い年月をかけて堆積し、沼地がなくなり島が連なりながら徐々につくられていきました。

今の港区は、江戸のはじめ頃になってもまだ沼や葦原が広がるだけで人は住んでいなかったそうです。江戸の中頃に、浅瀬を埋め立てて田や

畑にする新田開発が盛んに行われるようになり開発がすすみました。市岡・石田・田中・福崎・八幡屋といった新田の名前は今の港区の地名となって受け継がれています。



▲大阪湊口新田細見図(大阪城天守閣蔵)